

第17回 国分寺市環境シンポジウム

プラスチック依存社会からの 脱却と持続可能社会

～マイクロプラスチックの脅威～

マイクロプラスチックとは、5ミリメートル以下のプラスチックの総称です。

プラスチックは世界で年間約3億トン生産されており、世界の海洋には5兆個、27万トンのプラスチックが浮遊していると推定されています。こうしたプラスチックがマイクロプラスチックとなり、環境や生態系などに様々な影響を与えていることが大きな問題となっています。また、マイクロプラスチックは私たちの暮らしの中で、洗顔料や化粧品などの生活用品からも生まれています。

豊かな環境を未来に引き継ぐため、マイクロプラスチックが人体や生態系に与えている影響やその対策などについて学び、今私たちにできることを一緒に考えてみませんか。



河川の岸辺に溜まっているプラスチックなどのごみ

講演内容

- マイクロプラスチック・ナノプラスチックが生じる過程
- 河川や人体に与える影響
- プラスチックに依存しない社会の構築
- 私たちにできること

など

日程 令和4年2月20日（日曜日）

【時刻】午後1時30分 開演（午後1時 開場）

【会場】リオンホール（cocobunjiWEST 5階）

※当日は会場へ直接お越しください。

※オンライン配信も併せて実施します。オンラインでの参加をご希望の方は

2月17日（木曜日）午後5時までにまちづくり計画課（裏面問い合わせ先）へご連絡ください。

【定員】150名 ※手話通訳あり

【料金】入場無料

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためご理解とご協力をお願いいたします。

①体調がすぐれない方は、ご来場はお控えください。

②入場時のアルコール消毒・検温にご協力ください。

③マスクの着用をお願いいたします。

<主催> 国分寺市環境ひろば・国分寺市

講師紹介

たかだ ひでしげ

高田 秀重さん

講演テーマ

『プラスチック依存社会からの
脱却と持続可能社会』



- ・東京農工大学 農学部 教授（理学博士）
- ・専門：環境中における微量有機汚染物質の分布と輸送過程
- ・現在のテーマ：人為起源有機化合物の環境動態
- ・2005年以来International Pellet Watchを主宰
- ・日本環境化学会理事
- ・英文誌EMCR編集長

現在は環境中における微量有機汚染物質の分布と輸送過程についてを専門として研究。対象は河川、海、大気など地球表層全般。東京湾とその流域と熱帯アジア、アフリカが主なフィールド。

1998年からプラスチックと環境ホルモンの研究を開始。

当日のプログラム（予定）

時間	内容
13:00	開場
13:30～13:35	開会のあいさつ
13:35～14:35	講演 高田 秀重さん
14:35～14:55	質疑応答
14:55～15:10	環境団体紹介
15:10～15:15	閉会のあいさつ
15:15	閉会

問い合わせ先

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

国分寺市本町4-1-9 本町クリスタルビル4階

TEL：042-314-9005（直通）

E-mail：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp